

柳下 ロゲインシリーズ制覇

有度山ロゲイン大会 2009年1月11日 静岡市日本平

今年から始まったロゲインシリーズ戦。柳下が初代の男子チャンピオンに輝いた。

2009年1月11日 静岡市日本平
有度山ロゲイン大会

男子

1	柳下 大	Aチーム	599 点
2	茂木堯彦	臼俱樂部	494 点
3	望月将悟		484 点

女子

1	田島利佳	阿蘭梨	415 点
2	笹原まどか	ガールズ	330 点
3	原直子	山田美	245 点

混合

1	渡辺円香	木酔会	468 点
2	松本高幸	たかびろりん	456 点
3	篠原岳夫	渋谷で走る会	426 点

3時間組

1	後藤雅徳	チームB	297 点
2	横山峰弘	NOTRH FACE	253 点
3	小野隆		232 点

家族

1	向井久高	ムーさん	321 点
2	高野純一	チワワーズ	295 点
3	宮崎崇徳	ハムちゃん	279 点

やっぱり帝王・柳下

柳下はチームを組んだ渡辺千春とともにこのレースに臨み、ぶっちぎりの高得点で男子優勝を飾った。この優勝により、2008年度の日本ロゲインシリーズ戦いのポイント争いで最高得点となり、3月に行われるロゲイン最終戦を待たずしてシリーズの初代チャンピオンに輝いた。

男子2位には元・インカレロング優勝者の茂木率いる臼俱樂部、3位は地元のトレイルランナー望月将悟だった。

女子優勝は、Team 阿蘭梨の田島・須見ペア。田島はオリエンテーリングの元日本代表。最近ではロゲインやトレイルラン、MTBに参加する機会が多いようだ。



通過証明はデジカメを使用。フラッグの設置はない。有名観光スポットでは、観光客に混じて写真撮影。混み合っているがそこは5時間ロゲイン。心にゆとりを持って撮影する。

有度山ロゲイン

2009.1.11 1:25,000 等高線間隔 10m

この地区は、国土院院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平20特標、第119号)



- 立ち入り禁止・通行不可
- 陸橋・フェンス等から外に出ることは不可
- 道ではないが通行可能
- 新規造成地
- + cp32への連絡ポイント。南側からcp32に向かう時には必ずこの地点周辺090-8857-6921(宮内)に電話をかけること。cp32から南に下る時も同様
- ☒ ハッシュバウス、給水



レクロゲインで観光地めぐり

制限時間 5 時間。ペア競技。使用地図 1:25,000。移動手段は徒歩のほかにロープウェイが認められる。フラッグは設置されておらず、指定された標識や石碑、神社仏閣の写真をデジタルカメラで撮影する。そんなお手軽感覚なレクロゲインが静岡市の日本平で開催された。

この日本平地区には史跡や観光地が多く、それらを一日で一気に巡ることができる。それだけではない、一般人ならまず足を踏み入れることがないような有度山山頂や、ハイキング道の廃道をも巡った。

参加者は約 170 名。家族連れから、やる気満々のガッツチームまでが同じ地図で競技を行う。参加者はオリエンテーリング愛好家だけでなく、半分はアドベンチャーレース愛好家、トレイルラン愛好家である。



コントロール地点は草薙競技場内の沢投手の銅像。ここは 14 得点のコントロール。ペーブルースとの伝説の一戦が再現されている。沢村投手の真似をして写真に納まる筆者の木村。2 人一組の競技であるがゆえにこのような写真撮影も可能となる。

げげっ 立体交差じゃん

凍てついた信州から来たオジサン二人には春の楽園のような静岡。そんな環境で丘陵を走れることだけでゴクラク気分。

長時間ということでゆっくりと走る。地図はいつもの 0-map ではなく国土地理院発行の 1:25,000 地図をベースにしたロゲイン用地図。いつもの調子で走るが、このトレインは結構クセモノ。立体交差がいろいろな箇所があり、行ってみて初めて降りられないことが判って右往左往。よく見ると地図に陸橋が書いてあるじゃない。

いやいや長時間のロゲイン競技ではこんな事でメゲてはいけない。こうしたトラブルをも楽しめる余裕かましてレース続行。



こんな標識にもコントロール設定されている。28 点の高ポイント。ここで撮影した人の多くはお辞儀したようだ。

ルート寸断？

私たちの選択したルート取りはロープウェイ頼み。道がない地帯は一気にロープウェイを使って空を飛んでゆく戦略だ。

走って日本平ロープウェイ駅に到着してみると、連休中のせいか、イチゴ狩り客が多いせいか混雑している。休憩だと思ってロープウェイに並んでいると、強風で目の前のロープウェイが止まりそうに！

ここで止まられては一大事！ ルートの大幅組みなおしと得点の大幅ダウンが避けられない。久能山の家康さまに向かって手を合わせ、くつきりと映える富士山にお祈りし、ロープウェイの安全運行を願うばかり。

幸い、徐行運転をしながらもロープウェイは動いた。目の前に青く駿河湾が開ける。遠くからも波頭が白く砕ける様が見える。ロープウェイも時折風に煽られる。駿河湾の向こうには伊豆半島や御前崎がキレイに見える。

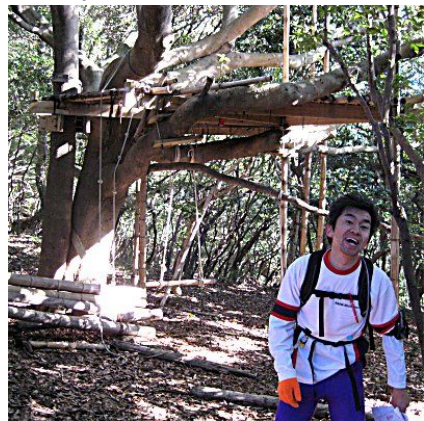


ロープウェイ乗り場で搭乗を待つチームメイト。強風でロープウェイが止まりそうでハラハラした。日本平山頂から久能山までの間は崩落危険地帯。この間を結ぶロープウェイへの搭乗は競技規則で認められている。

日本平スピード観光

なんだかんだで、結局日本平をほぼ一周。日本平展望台、久能山東照宮、静岡大学構内、草薙競技場、そのほかの神社・仏閣など一気に巡ってしまった感じ。

最初は山岳部分を中心に攻めていたが、足の筋力が無くなった後半は平地のロード中心のルート選択に切り替え 5 時間いっぱい使ってフィニッシュ。ロード区間は信号を守りながらの競技となった。



静岡大学構内の森の中にあるツリーハウス。ここも 18 得点のコントロール。後日静岡大学 OB に聞いたが、大学生もあまり知らないスポットのようだ。

前日は豪華トレランレース

前日には同じく有度山で行われたトレイルランミニレースに出場。(距離 9.5km)

ローカルイベントのはずが地元の望月氏、相馬氏や横山氏といったトレラン界の有名人が多く参入。とてもローカルイベントとは思えないハイレベルなレースが行われた。

トレランイベントの運営は何度か経験があるが、参加するのは初めて。

オリエンテーリングではナビゲーションのためにスピードを落とす箇所がいくつもあるが、トレランではそれが無い。初めての入る森の道でもジェットコースターのように飛ばす感覚は新鮮だ。

「翌日のロゲイン大会に備えて、ゆっくり走ろう」スタート前はそんな事考えていたが、走っているうちにすっかり忘れていつの間にか全速力になっていた。

今回参加者は 120 名ほどだったが、山道のキャパシティを考えると、これ以上の参加者は走れないだろうと感じた。

(木村佳司)